

## 就活経験者にきいた「大学進学に関する調査」

大学受験に際し、さまざまな情報を比較して志望校を選ぶ人は多いが、大学の先にある就職について視野に入れている人はどのくらいいるのだろうか。また、情報収集の仕方によって大学生活の満足度に違いはあるのだろうか。今春卒業予定の大学生・大学院生に、大学選びの際に着目した点や、大学進学時のキャリア意識などを尋ねた。その結果、満足度の高い大学生活や就職先選びに結びつく要因が見えてきた。

### 目次

#### 1 入学した大学について

- (1) 大学生活の満足度
- (2) 大学入学前後のギャップ

#### 2 進学先検討時の意識と行動

- (1) 進学先検討時の情報収集
- (2) 進学先検討時のキャリア意識度
- (3) 志望校を選ぶ際に「チェックすべきポイント」

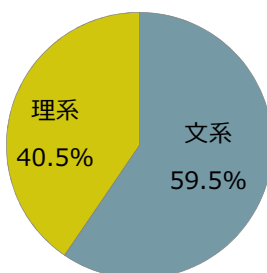
#### 3 大学満足度／就職先満足度との関連

- (1) 就職先企業の満足度、専攻分野との関連性
- (2) 大学満足度と就職先満足度の相関
- (3) 大学満足度と進学先選びの際の情報収集

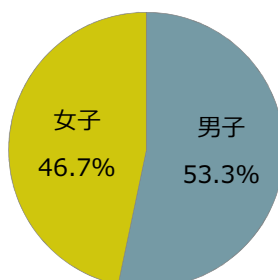
### 調査概要

- 調査対象 : 2019年3月に卒業予定の大学4年生のうち就職先企業を決定した人  
(理系は大学院修士課程2年生含む)
- 回答者数 : 835人 (文系男子229人、文系女子268人、理系男子216人、理系女子122人)
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査期間 : 2018年12月15日～25日
- サンプリング : キャリタス就活2019 学生モニター
- 調査機関 : 株式会社ディスコ キャリタスリサーチ／キャリアス進学企画部

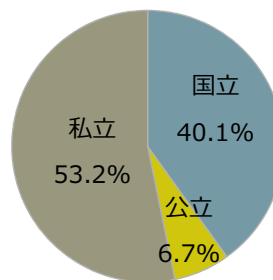
文理



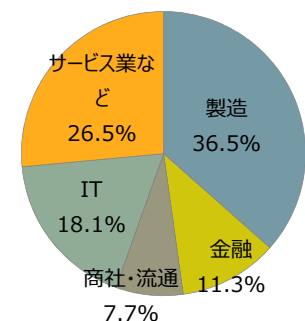
男女



大学設置区分



就職先企業の業種

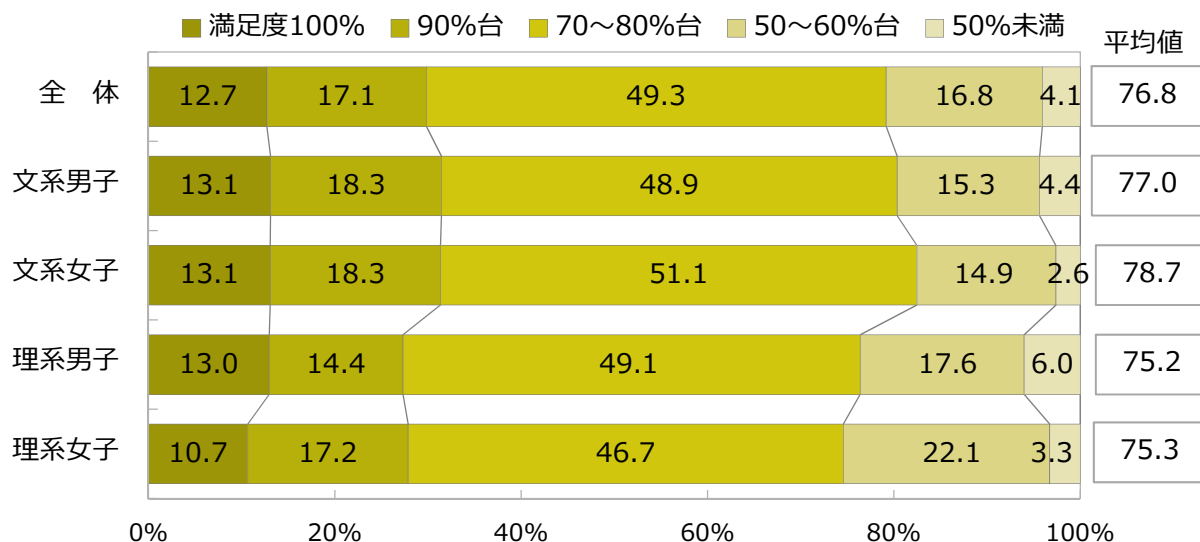


# 1 入学した大学について

## (1) 大学生生活の満足度

### ■ 入学した大学・学部・学科の満足度（大学満足度）

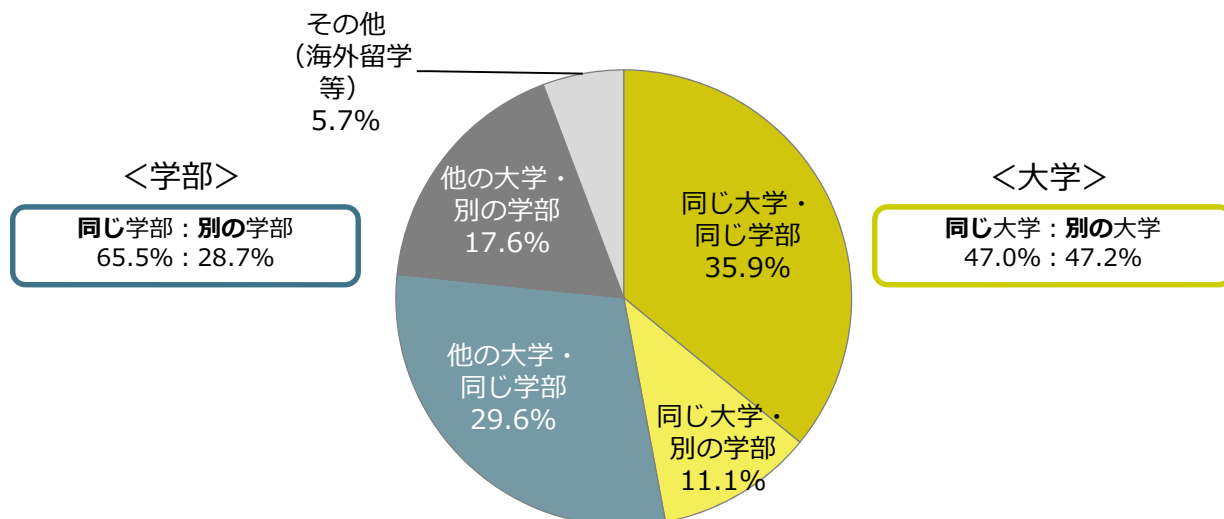
- 全体の3割が大学への満足度を「90%以上」と回答（計29.8%）。
- 満足度の平均値は76.8%。大学への満足度は総じて高い。
- 文理男女で大きな差はないが、文系のほうが理系よりやや高い。



### ■ 大学受験をやり直せるとしたら、同じ大学・学部・学科を選ぶか

- 最も回答が多かったのは「同じ大学・学部を選ぶと思う」35.9%。次いで「他の大学の、同じ系統の学部を選ぶと思う」が29.6%。
- 学部によらず「同じ大学」を足し合わせると計47.0%。「別の大学」は計47.2%で拮抗。
- 大学によらず「同じ学部」は計65.5%。「別の学部」は計28.7%。大半の学生は学部の選択に満足していることがわかる。

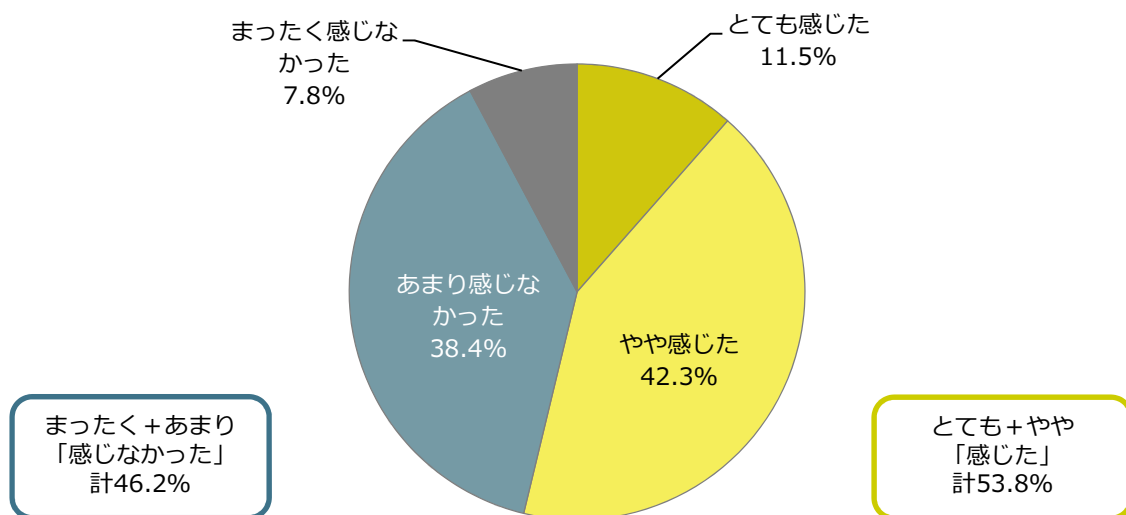
\* 3ページにコメントを掲載



## (2) 大学入学前後のギャップ

### ■ 入学後にギャップを感じたか

- 「とても感じた」(11.5%)と「やや感じた」(42.3%)、あわせて半数を超える学生が(53.8%)、大学入学前後でなんらかのギャップを感じていた。
- 寄せられたコメントから、事前の情報収集不足がギャップに結びついているケースが多いことがうかがえる。



### ギャップの具体的な内容

#### 【悪いギャップ】

- 環境に関することを学ぶ学科であったが、自然科学について学ぶことがあまりできなかった。 <理系男子>
- 思っていた以上に忙しかったし、進級・卒業が大変。 <理系女子>
- 自分の入った学部だけ別のキャンパスにあった。 <文系女子>
- 国立大学なのでより少人数できめ細かい指導が受けられるのかと思っていたが、大人数での講義が中心だった。 <文系男子>

#### 【良いギャップ】

- 志望度が低い大学だったので期待していなかったが、授業は充実しており先生の指導も手厚かった。 <文系女子>
- いかにもな「大学生」が少なく、自分の道をしっかり考えているような真面目な学生が多いことに驚き、プラスの方向でのギャップを感じた。 <理系男子>

### 大学受験をやり直せるとしたら・・・

#### 【同じ大学の別の学部を選ぶと思う】

- 大学には満足してるが、就活においては他の学部の方がいいと感じた。 <文系男子>
- 別の学部の講義や研究を聞いていると面白そうであるため。 <理系男子>

#### 【他の大学の同じ系統の学部を選ぶと思う】

- 落ちてしまった第一志望の大学に、自分が今一番興味のある分野専門の教授がいるので、やり直すならその人のもとで学びたい。 <文系女子>
- 学部で学べたことはとても有意義なものだったが、欲を言えばもう少し上の大学に受かりたかった。 <文系男子>

#### 【他の大学の別の系統の学部を選ぶと思う】

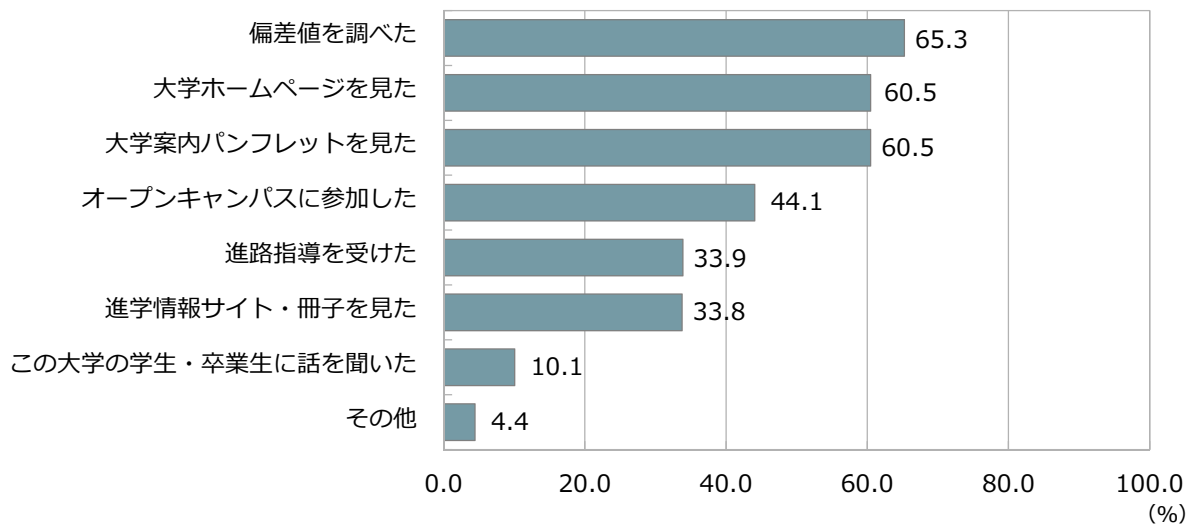
- 専門的な勉強をするうちに、あまり好きではないことに気づいたから。 <理系女子>

## 2 進学先検討時の意識と行動

### (1) 進学先検討時の情報収集

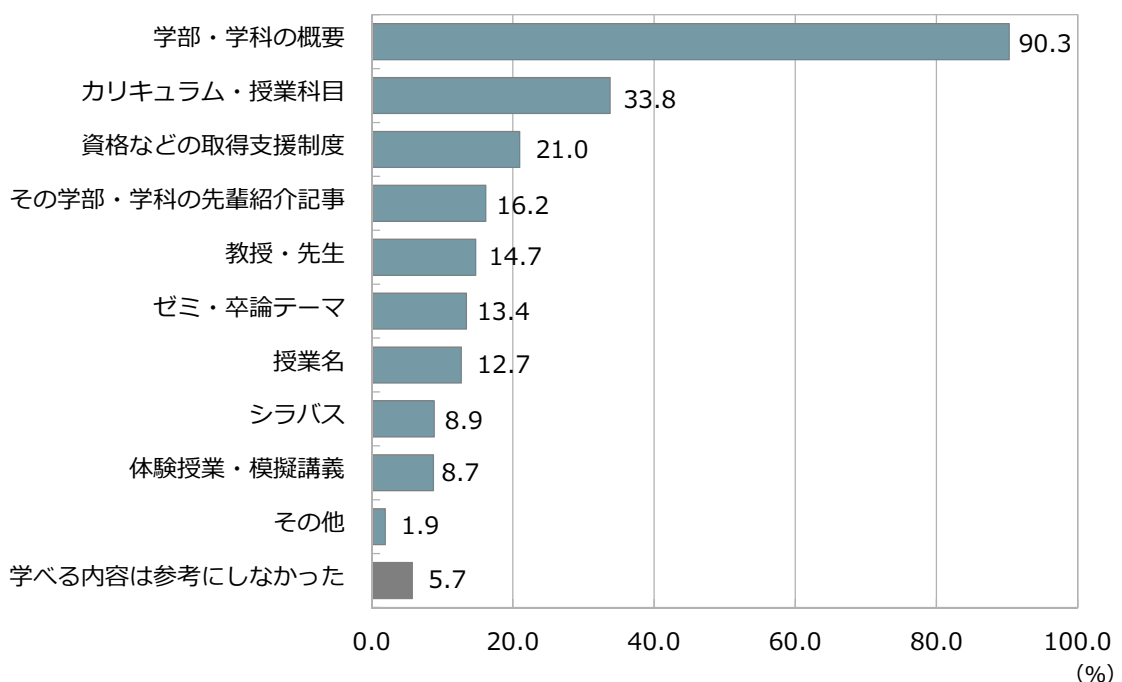
#### ■ 入学した大学を進学先として検討する際にしたこと

- 入学した大学の情報収集として最も多いのは、「偏差値を調べた」(65.3%)。
- 次いで「大学ホームページを見た」「大学案内パンフレットを見た」がいずれも60.5%。
- 「オープンキャンパスに参加した」は44.1%。



#### ■ 進学先検討の際に参考にした「学べる内容」

- 大半の学生が、志望大学検討の際に、その大学で学べる内容を参考にしたと回答 (94.3%)。
- 「学部・学科の概要」が圧倒的に多い (90.3%)。
- 「カリキュラム・授業科目」(33.8%)、「資格などの取得支援制度」(21.0%)などの詳細まで調べた層は限られる。



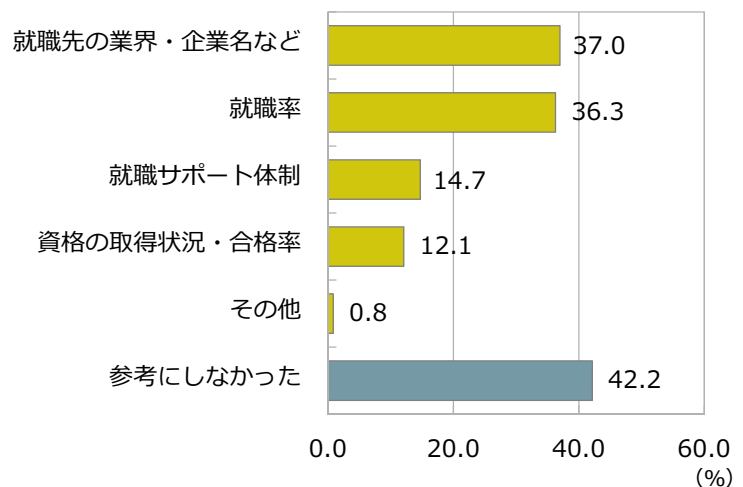
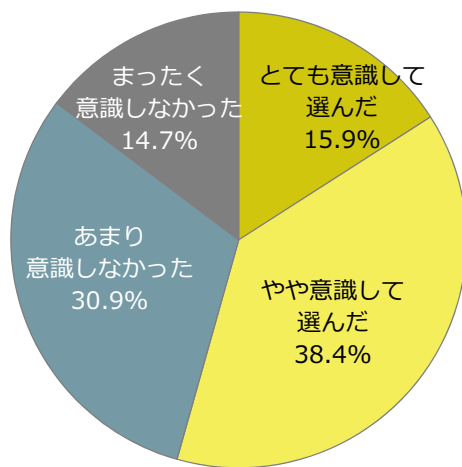
## (2) 進学先検討時のキャリア意識度

### ■ 進学先検討時のキャリア意識度（将来のキャリアや就職を意識して大学を選んだか）

- 「とても意識して選んだ」「やや意識して選んだ」の合計は54.3%。過半数が将来のキャリアや就職を意識して進学先選びを行ったと回答した。
- 約6割が、進学先検討の際に、「その大学の就職関連情報を参考にした」と回答（57.8%）。
- 参考にした情報で多いのは「就職先の業界・企業名など」（37.0%）と「就職率」（36.3%）。

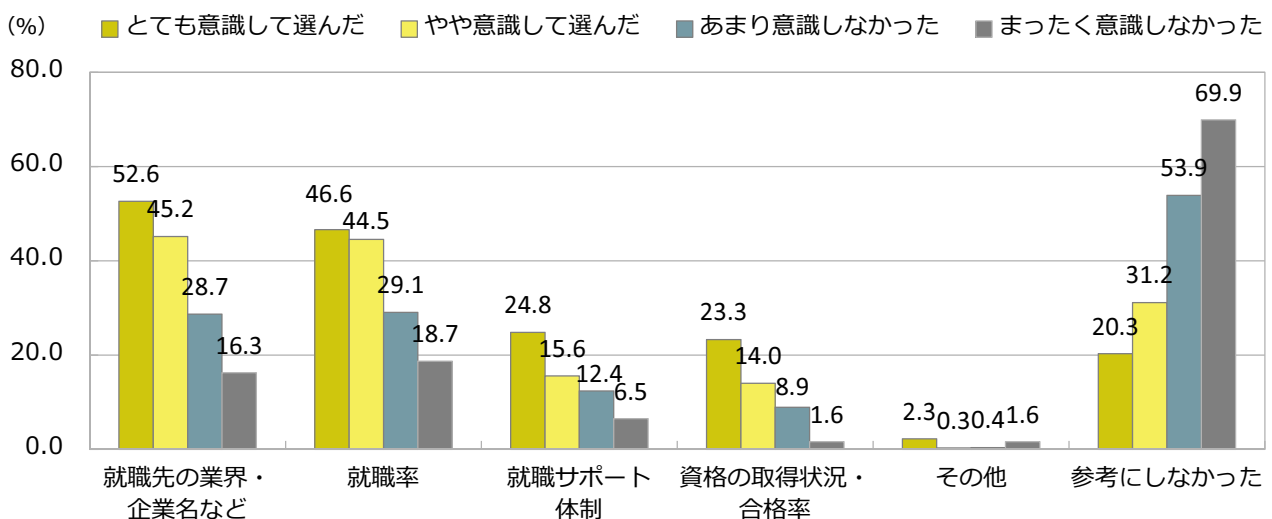
進学先検討時にキャリアを…

<志望大学検討にあたって参考にした「大学の就職関連情報」>



### ■ 進学先検討時のキャリア意識度 × 参考にした「大学の就職関連情報」

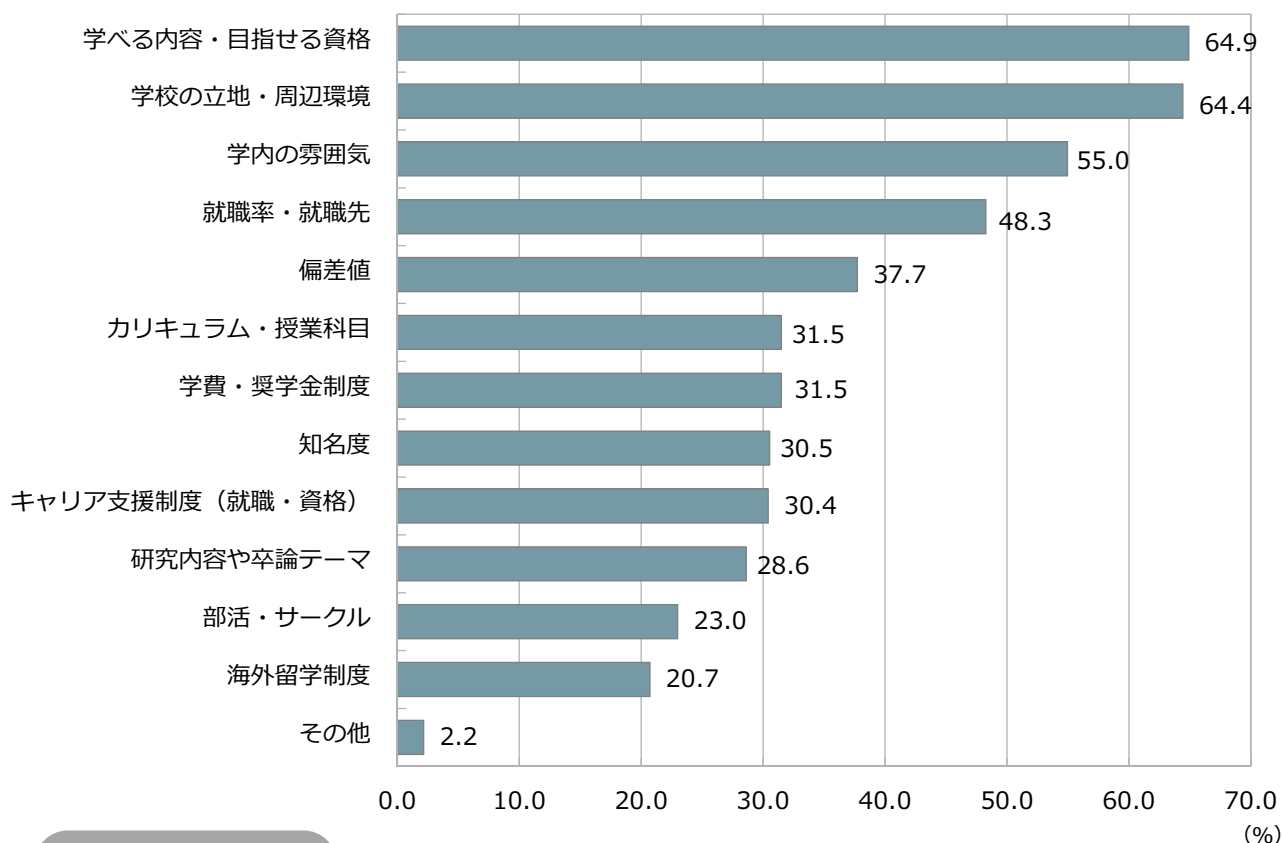
- 将来のキャリアを「とても意識して選んだ」と回答したグループが最も参考にした就職関連情報は「就職先の業界・企業名など」（52.6%）。「まったく意識しなかった」グループの回答（16.3%）の3倍以上。
- 将来のキャリアを「意識しなかった」グループは、「就職に関する情報は参考にしなかった」の割合が高く、69.9%と7割近くに上る。



### (3) 志望校を選ぶ際に「チェックすべきポイント」

#### ■ 志望校選択にあたりチェックしておくよいポイント

- 「学べる内容・目指せる資格」(64.9%)と「学校の立地・周辺環境」(64.4%)の2項目が6割を超え多かった。
- 次いで「学内の雰囲気」(55.0%)で、「就職率・就職先」(48.3%)は4位。
- 文理差が大きいのは「研究内容や卒論テーマ」。理系が5位(38.5%)なのに対し、文系は21.9%で12位。



#### 文系理系別

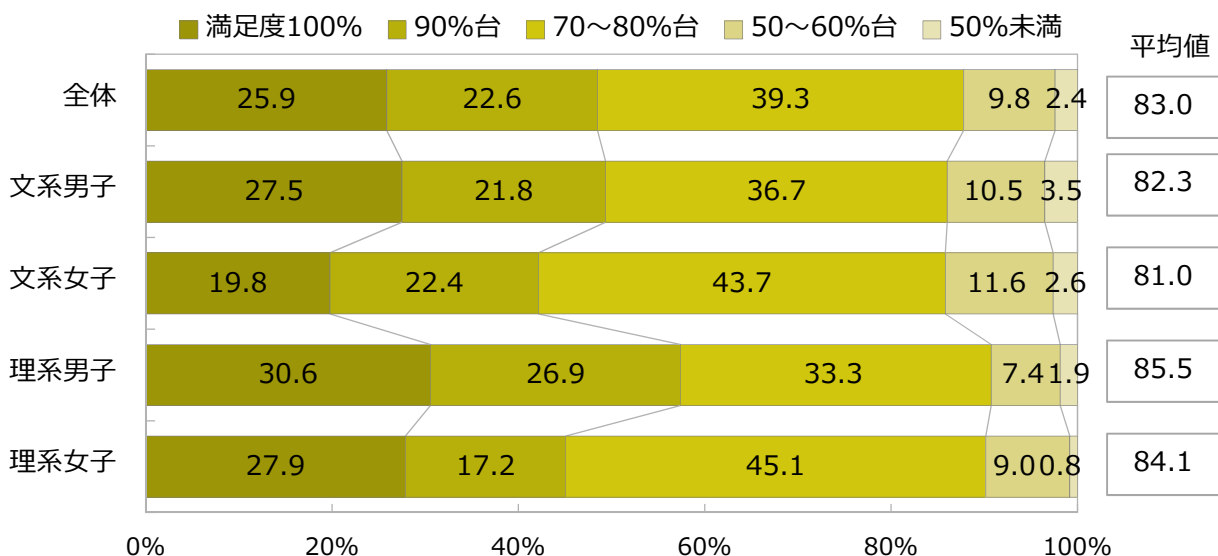
文 系		理 系	
①学べる内容・目指せる資格	67.0%	①学校の立地・周辺環境	62.4%
②学校の立地・周辺環境	65.8%	②学べる内容・目指せる資格	61.8%
③学内の雰囲気	56.9%	③学内の雰囲気	52.1%
④就職率・就職先	47.9%	④就職率・就職先	48.8%
⑤偏差値	40.2%	⑤研究内容や卒論テーマ	38.5%
⑥カリキュラム・授業科目	33.0%	⑥偏差値	34.0%
⑦キャリア支援制度(就職・資格)	32.6%	⑦学費・奨学金制度	31.1%
⑧知名度	32.4%	⑧カリキュラム・授業科目	29.3%
⑨学費・奨学金制度	31.8%	⑨知名度	27.8%
⑩部活・サークル	25.4%	⑩キャリア支援制度(就職・資格)	27.2%
⑪海外留学制度	25.4%	⑪部活・サークル	19.5%
⑫研究内容や卒論テーマ	21.9%	⑫海外留学制度	13.9%
⑬その他	2.0%	⑬その他	2.4%

### 3 大学満足度／就職先満足度との関連

#### (1) 就職先企業の満足度、専攻分野との関連性

##### ■入社予定企業の満足度（就職先満足度）

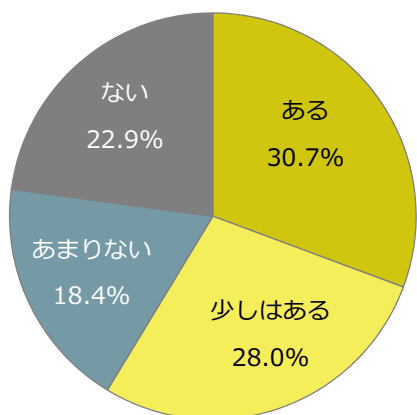
- 全体の4人に1人が就職先企業への満足度を「100%」と回答（25.9%）。
- 就職先満足度の平均値は83.0%。大学満足度（2ページ）の76.8%より高い。
- 大学満足度は「実際に大学生活を送った上での満足度」であり、就職先満足度は「今後への期待」という側面はあるものの、就職先に対して多くの学生が満足しているようだ。



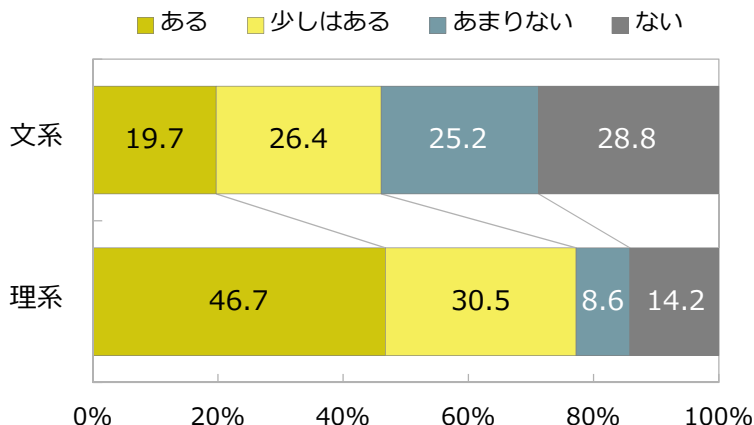
##### ■就職先の業種・職種と大学での専攻分野の関連性

- 就職先の業種・職種が大学の専攻分野と「関連性がある」と回答したのは全体の30.7%。「少しはある」をあわせると、約6割になる（計58.7%）。
- 文理で差が大きく、理系は「関連性がある」が46.7%で、文系（19.7%）の2倍以上。理系は「少しはある」をあわせると、7割を超える（計77.2%）。

就職先の業種・職種と専攻分野に関連性が...



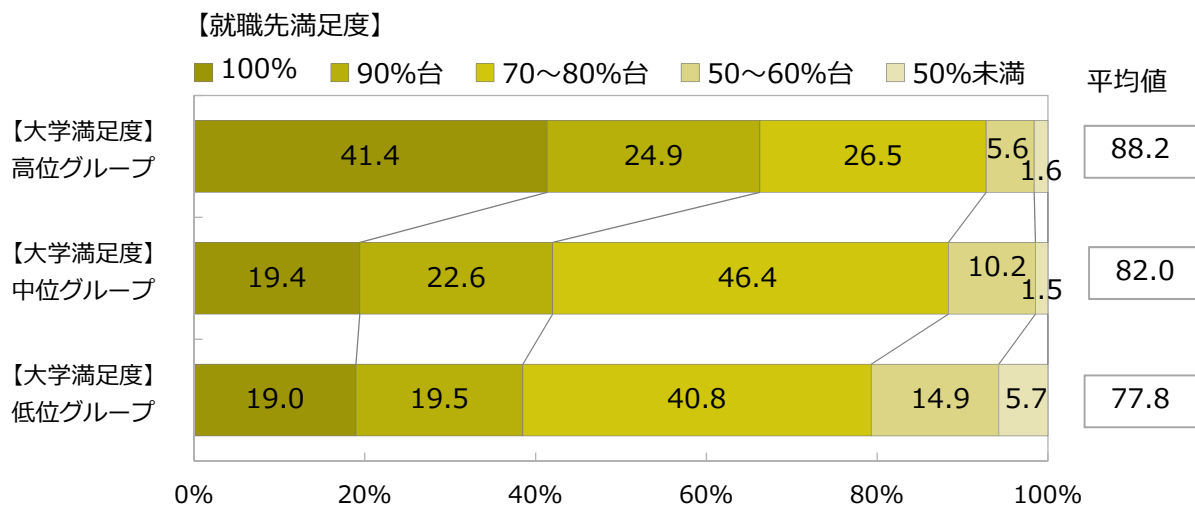
就職先の業種・職種と専攻分野に関連性が...



## (2) 大学満足度と就職先満足度の相関

### ■ 大学満足度 × 就職先満足度

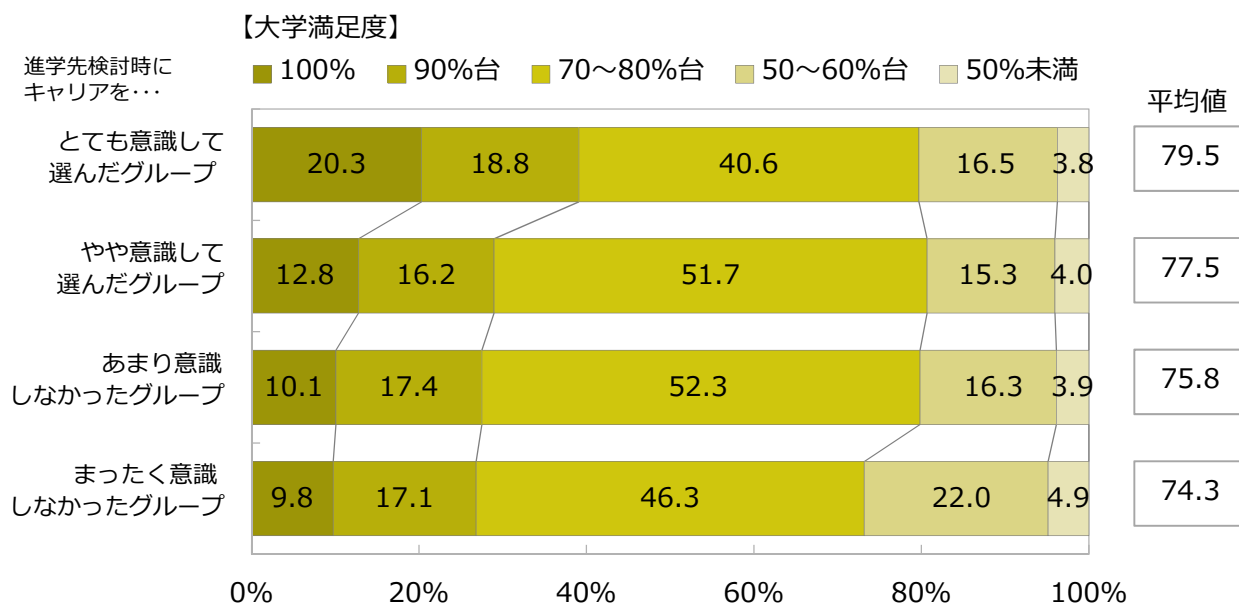
- 大学満足度が高いほど、就職先満足度も高い傾向が見られる。
- 特に、「大学満足度90%以上」と回答したグループでは、就職先満足度が平均88.2%と高水準で、大学生活の満足度と就職先の満足度は関連性が高いことがわかる。



※2ページの「大学満足度」100%・90%台 = 高位グループ、70~80%台 = 中位グループ、50~60%・50%未満 = 低位グループ

### ■ 進学先検討時のキャリア意識 × 大学満足度

- 進学先検討時に将来のキャリアを意識したレベルが高いほど、大学満足度が高まる傾向がみられる。
- 進学先検討時に将来のキャリアを「とても意識して選んだ」と回答したグループでは、大学満足度を90%以上と回答した学生が計39.1%と、約4割に上る。
- 「まったく意識しなかった」グループでは、90%以上と回答した学生は計26.9%にとどまり、「とても意識して選んだ」グループとの差は12.2ポイント。

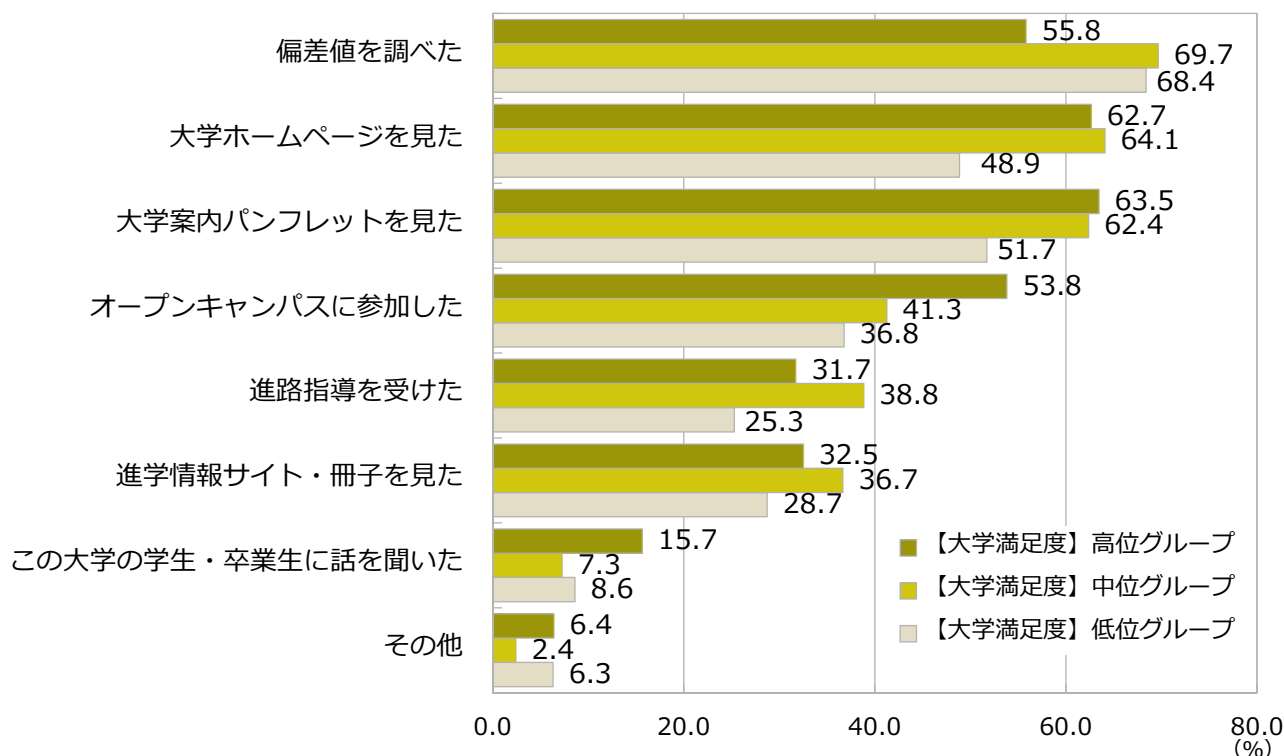




### (3) 大学満足度と進学先選びの際の情報収集

#### ■ 大学満足度 × 入学した大学を進学先として検討する際にしたこと

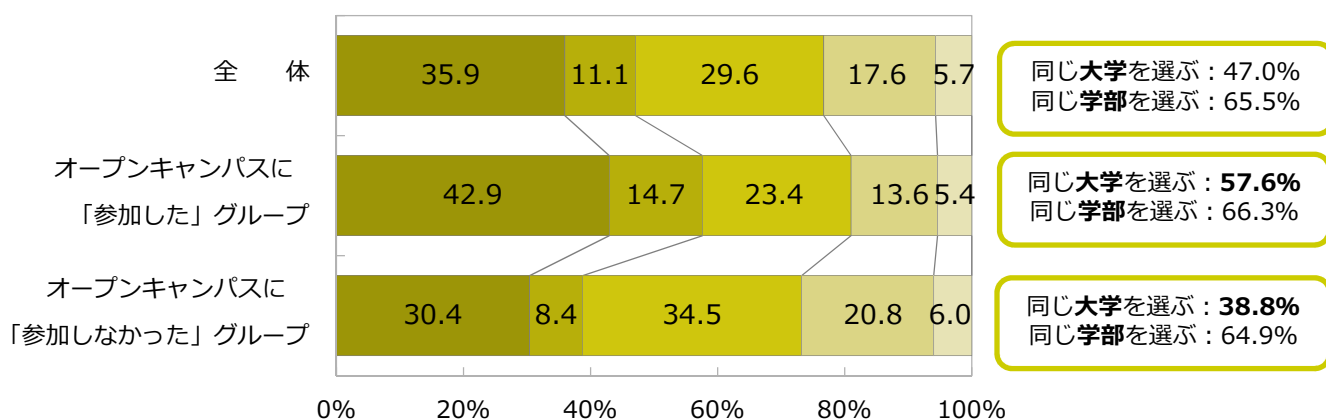
- 大学満足度高位グループが他のグループより高いのは「オープンキャンパスに参加した」。逆に他のグループより低いのは「偏差値を調べた」。
- 大学満足度高位・中位グループで見ると「大学案内パンフレットを見た」「大学ホームページを見た」の数値が高い。



#### ■ オープンキャンパス参加有無 × もし大学受験をやりなおせるとしたら、同じ大学・学部・学科を選ぶか

- 「オープンキャンパスに参加した」グループでは、「同じ大学・同じ学部」(42.9%)と「同じ大学・別の学部」(14.7%)をあわせて6割近くに上る(計57.6%)が「同じ大学を選ぶ」と回答。
- 「参加しなかった」グループでは「同じ大学を選ぶ」は4割未満(計38.8%)にとどまる。

■ 同じ大学・学部 ■ 同じ大学・別の学部 ■ 他の大学・同じ学部 ■ 他の大学・別の学部 ■ その他



## <まとめ>

この調査に回答した学生は、大学生活への満足度は比較的高い。しかし、満足度の低い学生も見られた。

満足度の高い層は、大学選びの段階から卒業後のキャリアを考え、大学の就職関連情報に関心を寄せていた。進学時のキャリア意識が高いほど、大学の様々な就職関連情報を参考にしたことも調査結果に表れていた。志望校選択にあたり、その大学・学部に行くかどうかといった業界・企業に就職できるのかを参考にしたり、進学先を検討していた。

また、大学満足度の高い層と低い層とで最も差があったのがオープンキャンパスの参加有無だった。大学生活の満足度を高めるためには、より多くの情報を収集するとともに、オープンキャンパスに参加して大学の雰囲気を味わう、学生や卒業生から生の声を聞いて学びの内容を知るなどして、具体的なイメージを持つことが有効であるようだ。

大学への満足度は就職先企業への満足度に繋がることも調査で明らかになった。大学進学の際に将来のキャリアに関心をもち、情報収集を行うことで、期待に添った充実した大学生活を送ることができる。そしてそれが、満足度のいく就職へと繋がるのが、この調査から読み取れる。

## <コメント集>

### 【志望大学を検討する際に参考になった情報や調べ方】

- 進路指導の先生から情報を聞くことや、大学のホームページ、パンフレットを見て、学部情報や特色、就職先などを見た。 <文系男子>
- 模擬授業で大学のリアルな講義を知ることができるのは参考になる。 <文系女子>
- オープンキャンパスで志望している分野の学生や教授と話ができたのがよかった。 <理系男子>
- 大学パンフレットから受ける印象は非常に参考にした。同じような学問を扱う大学のパンフレットを複数大学並べ、どれに最も興味惹かれたかを参考にした。 <理系女子>
- 卒業論文の題目を見ることで、勉強できる内容がより具体的に理解できた。 <文系女子>
- オープンキャンパスに行き、大学の雰囲気を実際に感じる事が大事だと思う。 <文系男子>

### 【大学の面白い授業・ユニークな授業】

- 異文化理解に関するもので、ウクレレを弾く授業。新しいことにチャレンジする面白さを感じた。 <人間科学部>
- 「証券ビジネス」証券会社の社員が金融の知識についてやさしく教えてくれる。 <商学部>
- 「グローバルメディア論」世界中で販売されている日本のお菓子を日本国内で販売されている同じ種類のお菓子と比較し、グローバルを理解するというもの。 <経済学部>
- 「募集型企画旅行」パッケージツアーの特徴を学ぶ授業で、実際に海外旅行にも行ける。 <国際地域学部>
- 「地理学特殊講義」地域の観光事業への取り組み方を学ぶ授業で、アニメの聖地巡礼をとりあげた。 <文学部>
- 「科学英語」科学に用いられる単語や単位に特化した英語の授業。実用的で、プレゼンテーション演習もあったので面白かった。 <総合理工学部>
- 「地域再生」現地に行き、地域に伝わる昔話を心理学的観点から分析するという授業で、着想がいいなと感じた。 <環境都市工学部>
- 「オーブ学」地域の特産品について詳しく学ぶことができ、面白かった。翌年には「うどん学」も開講されたい。 <農学研究科>
- 「乗船実習」海でサンプリングするための船を大学が持っていて、その船で共同生活をしながら屋久島に行った。 <生物圏科学研究科>